

2017年5月12日
日本板硝子株式会社

2017年3月期 通期連結決算報告 (2016年4月1日～2017年3月31日)

- 2017年3月期の無形資産償却前営業利益は、為替換算の影響を受けるも、大きく改善
- キャッシュ・フローは大きく改善し、フリー・キャッシュ・フローが計画を上回る
- A種種類株式の発行により、安定した財務基盤へ前進
- 2018年3月期は、営業利益ベースで約60億円の増益を予想

2017年3月期の無形資産償却前営業利益は、為替換算の影響を受けるも、大きく改善

- グループ売上は5,808億円で、円高の影響により前年度から減少(前年度6,292億円)
- 無形資産償却前営業利益は、欧州市場の回復、堅調な米国市場、原燃材料コストの減少、生産効率の改善、不採算事業の撤退・縮小及びVA化の進展によって大きく改善し、331億円(前年度272億円)
- 建築用ガラス事業は、売上2,377億円(前年度2,626億円)、無形資産償却前営業利益270億円(前年度246億円)
- 自動車用ガラス事業は、売上2,966億円(前年度3,163億円)、無形資産償却前営業利益127億円(前年度98億円)
- 高機能ガラス事業は、売上461億円(前年度495億円)、無形資産償却前営業利益18億円(前年度3億円)
- 損益は当初計画に沿う形で着地

キャッシュ・フローは大きく改善し、フリー・キャッシュ・フローが計画を上回る

- フリー・キャッシュ・フローは203億円のプラスまで改善(前年度46億円のマイナス)、計画の100億円を上回る

A種種類株式の発行により、安定した財務基盤へ前進

- 親会社所有者帰属持分比率が[※]15.7%まで改善(前年度12.7%)
- ネット借入が[※]3,133億円まで減少(前年度3,810億円)

2018年3月期は、営業利益ベースで約60億円の増益を予想

- 中期経営計画(MTP)フェーズ2の始動とともに、成長戦略へギアシフト

<2017年3月期通期 連結決算説明資料より抜粋>

連結損益計算書



(億円)	2016年3月期	2017年3月期	前年比
売上高	6,292	5,808	-8% ²
無形資産償却前営業利益	272	331	22% ³
償却費 ¹	(78)	(32)	
営業利益	194	299	54%
個別開示項目	(351)	29	
金融費用(純額)	(182)	(191)	
持分法による投資損益	(35)	11	
税引前利益/(損失)	(374)	148	
当期利益/(損失)	(475)	73	
親会社の所有者に帰属する当期利益/(損失)	(498)	56	
EBITDA	603	621	3%

¹ ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却
² 為替変動を除くと、2%増
³ 為替変動を除くと、39%増

無形資産償却前営業利益は、為替の影響を受けるも改善

2017年5月12日 | 2017年3月期通期決算報告

2018年3月期連結業績予想



(億円)	2017年3月期 実績	2018年3月期 見直し
売上高	5,808	6,000
無形資産償却前営業利益	331	380
償却費*	(32)	(20)
営業利益	299	360
個別開示項目	29	(60)
金融費用(純額)	(191)	(150)
持分法による投資利益	11	20
税引前利益	148	170
当期利益	73	100
親会社の所有者に帰属する当期利益	56	80

* ビルキントン買収に伴って発生した無形資産の償却

5期連続で営業利益拡大、金融費用は大幅に削減

2017年5月12日 | 2017年3月期通期決算報告